

症例演習 I

科目責任者 石 光 俊 彦
学年・学期 4 学年・前期

I. 前 文

4年生の2学期までに臨床科目の講義はすべて終了しております。3学期は、5年生から開始される臨床実習の準備の時期であり、また、国家試験に向けて第1歩を踏み出す時期でもあります。今回の症例演習では、国家試験の臨床問題に取り上げられている症例について、その問題点を分析し、解決への方策を学ぶことに主眼を置いています。従って、選択肢を除いた症例部分を中心に講義・演習が組み立てられております。とくにシラバスはありませんが、学生は、講義計画表に記載されている国家試験の問題番号を中心に予習をして下さい。この演習は5年生から始まる臨床実習や6年生の学習にも極めて有用かと思えます。

II. 担当科（教授）

内科学（腎臓・高血圧）	（石 光 俊 彦）
内科学（心臓・血管/循環器）	（井 上 晃 男）
内科学（呼吸器・アレルギー）	（仁 保 誠 治）
呼吸器外科学	（千 田 雅 之）
心臓・血管外科学	（福 田 宏 嗣）
泌尿器科学	（釜 井 隆 男）
薬理学	（藤 田 朋 恵）
病理診断学	（石 田 和 之）
微生物学	（増 田 道 明） （小 端 哲 二）
生理学	（神 作 憲 司）
日光医療センター 循環器内科	（杉 村 浩 之）
日光医療センター 心臓・血管・腎臓内科	（安 隆 則）
埼玉医療センター 呼吸器・アレルギー内科	（福 島 康 次）

III. 一般学習目標

- (1) 重要な疾患を持つ患者さんの問題点を分析し、解決する能力を得る。
- (2) 臨床実習前に症例演習をする事により、臨床実習の効果を高める。
- (3) 思考能力を高め、6年生での国家試験を視野に入れた学習にスムーズに適応する。

IV. 学修の到達目標

- (1) 各コマで与えられた症例について、問題点、病態生理、診断、治療などを理解する。
- (2) 臨床実習に応用出来るように、理解の幅を広げる。
- (3) 一時的な知識の獲得ではなく、6年生までこれらの能力を保持出来るようにする。

V. 授業計画及び方法

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
1	7	8	水	1	107-A-28, 107-E-46, 107-I-53 (呼吸器感染症③)	埼玉医療センター 呼吸器・アレルギー内科 福 島 康 次

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
2	7	8	水	3	循環の病態生理学Ⅰ（虚血性心疾患①）	生 理 学 小金丸 聡 子
3		8	水	4	循環の病態生理学Ⅱ（心不全①）	生 理 学 藤 木 聡一朗
4		8	水	5	108-C-21, 109-A-33, 110-D-31	内科学（腎臓・高血圧） 堀 中 繁 夫
5		8	水	6	109-E-49, 109-E-57, 111-D-50	泌 尿 器 科 学 別 納 弘 法
6		9	木	1	111-H-25, 111-F-28, 112-D-68, 113-D-74（心不全⑤）	心臓・血管外科学 福 田 宏 嗣
7		9	木	2	113-C-26, 113-C-46（呼吸機能障害③）	内科学（呼吸器・アレルギー） 塩 原 太 一
8		9	木	3	103-F-28, 103-F-29, 103-I-48, 103-I-49（呼吸器感染症④）	内科学（呼吸器・アレルギー） 清 水 泰 生
9		9	木	4	呼吸の病態生理学（呼吸機能障害①）	生 理 学 福 島 央 之
10		9	木	5	101-D-18, 101-G-20, 103-I-60, 104-D-24	内科学（心臓・血管/循環器） 井 上 晃 男
11		9	木	6	112-F-78, 112-F-79, 112-F-80, 113-F-71, 113-F-73（虚血性心疾患⑥）	内科学（心臓・血管/循環器） 佐久間 理 吏
12		9	木	7	101-A-18, 104-I-48, 106-I-42	内科学（心臓・血管/循環器） 中 島 敏 明
13		10	金	1	113-A-43, 113-C-31, 113-D-46, 113-D-75, 113-F-51（腎機能障害③）	内科学（腎臓・高血圧） 石 光 俊 彦
14		10	金	2	112-C-36, 112-D-28, 113-A-22, 113-F-64（腎機能障害①）	薬 理 学 児 嶋 修 一
15		10	金	3	106-D-34, 110-E-48（呼吸機能障害②）	橋 口 昌 章
16		10	金	4	100-C-25, 100-C-26, 100-C-27, 103-I-68（虚血性心疾患②）	内科学（心臓・血管/循環器） 那須野 尚 久
17		10	金	5	103-A-20, 106-A-24, 107-A-32, 109-I-53（心不全②）	内科学（心臓・血管/循環器） 有 川 拓 男
18		10	金	6	105-I-59, 107-A-54, 111-A-40, 111-I-78, 112-A-67	日光医療センター 循環器内科 杉 村 浩 之
19		10	金	7	106-A-31, 106-D-57, 107-A-33（虚血性心疾患④）	内科学（心臓・血管/循環器） 加 藤 徹
20		13	月	1	113-E-48, 113-E-49, 113-A-31, 113-A-65（呼吸器感染症①）	微 生 物 学 増 田 道 明
21		13	月	2	111-A-57, 111-H-21, 112-A-47, 112-A-61, 113-D-42（腎機能障害②）	内科学（腎臓・高血圧） 岩 嶋 義 雄
22		13	月	4	111-A-59, 111-E-69, 111-F-24（呼吸機能障害④）	内科学（呼吸器・アレルギー） 武 政 聡 浩
23		13	月	5	107-F-21, 110-I-43, 111-I-78（虚血性心疾患④）	内科学（腎臓・高血圧） 本 多 勇 晴
24		13	月	6	99-F-41, 99-G-18, 99-G-20, 99-H-11	日光医療センター 循環器内科 堀 江 康 人
25		13	月	7	107-A-60, 107-D-31, 107-I-55（虚血性心疾患⑤）	内科学（心臓・血管/循環器） 八 木 博
26		14	火	1	113-C-49, 110-E-64~66（肺癌③）	呼 吸 器 外 科 学 荒 木 修
27		14	火	2	104-D-26, 107-A-30（心不全③）	内科学（心臓・血管/循環器） 景 山 倫 也

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
28	7	14	火	3	106-E-43, 107-F-25, 107-I-63	泌 尿 器 科 学 安 土 正 裕
29		14	火	4	103-A-48, 110-B-44, 110-D-22 (肺癌②)	内科学(呼吸器・アレルギー) 三 好 祐 顕
30		14	火	5	103-D-58, 108-A-42, 108-E-36, 108-F-4 (虚血性心疾患③)	日光医療センター 循 環 器 内 科 星 俊 安
31		14	火	6	104-A-23, 104-D-27, 104-F-20, 104-G-55, 104-I-46	日光医療センター 心臓・血管・腎臓内科 安 隆 則
32		14	火	7	106-A-28, 106-D-31, 107-D-27, 107-F-17 (呼吸器感染症②)	内科学(呼吸器・アレルギー) 新 井 良
33		15	水	2	113-D-39, 111-E-50, 112-E-46, 112-E-47 (腎機能障害④)	泌 尿 器 科 学 深 堀 能 立
34		15	水	3	110-A-29, 110-H-24, 111-D-45, 111-I-73 (呼吸機能障害⑤)	内科学(呼吸器・アレルギー) 知 花 和 行
35		15	水	4	呼吸・循環器疾患の病理 (肺癌①)	病 理 診 断 学 中 里 宣 正

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

試験を行い、評価する。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

- (1) 今までに各科で指定した教科書および推薦図書。
- (2) Question Bank, Approach, 医師国家試験問題解説書。

VIII. 質問への対応方法

講義終了後約5分間質問時間をとります。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	○
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	◎
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義内容に関する質問は随時受け付け対応する。

試験結果に対する評価をフィードバックする。

XI. 求められる事前学習，事後学習（カッコ内は所要時間の目安）

当該領域の臨床問題を学習し，解答・解説を理解する。（45分）

XII. コアカリ記号・番号

C-4-4）循環障害・臓器不全。